



国立大学法人山梨大学
プレスリリース

平成29年11月9日

各報道機関 御中

山 梨 大 学

山岳科学公開シンポジウムの開催について（ご案内）
「越えられない山はなし ～山梨の山岳地域の現状と課題～」

山梨大学と筑波大学、信州大学及び静岡大学の4大学は、連携して日本初の山岳科学を学ぶことに特化した大学院修士課程を開設します。

今回開催するシンポジウムは、山岳地域を取り巻く環境問題の解決や山岳生態系の持続的管理に対応できる人材を育成することを目的とした、山梨大学山岳科学特別教育プログラムの一環として開催するものです。

つきましては、本シンポジウムを下記のとおり開催いたしますので、多くの方に参加いただきためイベント情報欄等でご紹介いただくとともに、当日取材をしていただきたくご案内いたします。

記

開催日時：平成29年12月17日（日）9：30～12：00（9：00より受付開始）

会 場：山梨県立図書館 多目的ホール

講 演：輿水達司（山梨県立大学特任教授）「南アルプスのユニークな形成史と多様な自然」

小岩井大輔（富士山写真家）「富士山と私」

横山勝丘（アルパインクライマー）「世界につながる山梨の山々」

長池卓男（山梨県森林総合研究所）「シカが越えられる山、ヒトが越えられない山」

そ の 他：参加無料、申込不要（定員100名、先着順）

<問合せ先>

山梨大学生命環境学部環境科学科 岩田

TEL 055-220-8339 FAX 055-220-8339

E-mail tiwata@yamanashi.ac.jp

<広報担当>

同 総務部総務課広報企画室 望月

TEL 055-220-8005 FAX 055-220-8799

E-mail koho@yamanashi.ac.jp

越えられない山はながし

～山梨の山岳地域の現状と課題～

山梨県は南アルプス、富士山、八ヶ岳など、世界屈指のアルパインフィールドに囲まれた自然資源の宝庫です。私たちはこの山々から多大な恩恵を受けていますが、一方で温暖化や森林の荒廃、過疎化など様々な課題も抱えています。本シンポジウムでは、山を熟知し、山を愛する4名の方から、山の美しさや楽しさとともに、山梨の山岳地域の現状と課題を解説していただき、その「山」を乗り越えていくためのヒントを教授していただきます。

開催日 / 2017 **12月17日(日)** 9:30～12:00(9:00より受付開始)
[受付]9:00～9:30 / [開会]9:30～9:35

会場 / 山梨県立図書館 多目的ホール

参加無料
申込不要
(定員100名、先着順)

- 講演 / 9:35～ 「南アルプスのユニークな形成史と多様な自然」
10:00 奥水達司(山梨県立大学特任教授)
- 10:05～ 「富士山と私」
10:30 小岩井大輔(富士山写真家)
- 10:35～ 「世界につながる山梨の山々」
11:00 横山勝丘(アルパインクライマー)
- 11:05～ 「シカが越えられる山、ヒトが超えられない山」
11:30 長池卓男(山梨県森林総合研究所)

質疑:11:30～11:55 / 閉会:11:55～12:00

問い合わせ先

山梨大学山岳科学特別教育プログラム

- ・岩田智也(生命環境学部)
Tel. 055-220-8339 ✉ tiwata@yamanashi.ac.jp
- ・宮崎淳一(教育学部)
Tel. 055-220-8149 ✉ miyazaki@yamanashi.ac.jp

主催: 山梨大学

共催: 筑波大学・信州大学・静岡大学・日本山岳アカデミア(JALPS)

山梨の山岳地域の現状と課題、そして その「山」を乗り越えていくためのヒントとは。

講演要旨

奥水達司 [山梨県立大学特任教授] 講演内容:「南アルプスのユニークな形成史と多様な自然」

19世紀後半にナウマンによって命名されたフォッサ・マグナは、八ヶ岳山麓から南アルプスを望む機会に着想されたもので、日本列島形成史上重要な役割を果たしてきた。このフォッサ・マグナ西縁の糸魚川-静岡構造線から立ち上がる南アルプスの理解は、20世紀後半以降における地質学の進歩によって、その形成がユニークであることのみならず、南アルプスの生態系解明にも、寄与してきている。専門は地質学、現在は山梨県立大学特任教授。



小岩井大輔 [富士山写真家] 講演内容:「富士山と私」

20歳の冬に精進湖からみた富士山の姿に感動し、写真を始める。愛車のアメリカンバイクを早々に売り払い、一眼レフカメラを手にし、週末を利用し埼玉から富士へと足を運ぶ。自分らしい作品を追い求め、富士と真剣に向き合い、徹夜明けでも毎週末富士の麓で車中生活をして撮影に明け暮れる。勤務先の事情により退職を余儀なくされ、富士山頂上の山小屋に務め始める。山小屋での仕事の合間に撮影を行い、山と溪谷社より写真「Mt.FUJII3776富士山頂の世界」を出版。



横山勝丘 [アルパインクライマー] 講演内容:「世界につながる山梨の山々」

信州大学理学部に入学すると同時に信州大学山岳会に入会。年間200日以上は山に入る。学生時代に米国ヨセミテのエル・キャピタン、ヨーロッパアルプス、冬壁、各地の岩場の開拓を山岳会のメンバーとともに経験する。アラスカ、アンデス、ヒマラヤ、パタゴニアなどに足を運ぶ。それと並行して、北米やヨーロッパのフリークライミングツアー、辺境の地での岩場開拓にも精を出す。2011年にはローガン南東壁初登攀に成功し、第19回ピオレドール賞を受賞した。現在は山梨県北杜市に住居を構え、瑞牆山を中心に活動を行っている。



長池卓男 [山梨県森林総合研究所] 講演内容:「シカが越えられる山、ヒトが越えられない山」

山梨県の山岳環境に対する最も深刻な脅威は何かと聞かれたら、私は「ニホンジカ」と答えるだろう。私は、山梨県森林総合研究所に1999年に就職して以来、生物多様性を考慮した生態的な森林管理の研究に主に携わり、県内の多くの森林や山岳を見てきた。現在、ニホンジカの影響が見られない森林や山岳は、ほんのごく一部の限られた場所しかない、と言っても過言ではない。「シカ問題」に対処するために何が重要なのかを一緒に考えたい。



山岳科学公開シンポジウム

越えられない山はなし

12/17(日)

参加無料・申込不要
(定員100名、先着順)

アクセス

会場 山梨県立図書館多目的ホール

〒400-0024 山梨県甲府市北口2丁目8-1



電車でお越しの方

JR中央本線および身延線で甲府駅下車、
北口のペDESTリアンデッキ(歩行者専用道)を利用して徒歩3分



お車でお越しの方

中央自動車道「甲府・昭和IC」より国道20号線、昭和通り、平和通りを経由、
舞鶴通りの北側(5km、15分)

主催:山梨大学

共催:筑波大学・信州大学・静岡大学・
日本山岳アカデミア(JALPS)

山梨大学・筑波大学・信州大学・静岡大学の4大学が連携して、
日本初の山岳科学を学ぶことに特化した大学院修士課程を
開設しています。

本プログラムは、山岳地域を取り巻く環境問題の解決や山岳
生態系の持続的管理に対応できる人材を育成します。

詳しくは以下のアドレスへアクセスいただきご覧下さい。

<http://www.ccn.yamanashi.ac.jp/~sangaku/HP/index.html>